

令和 7 年度 事業報告

1. 啓発普及事業

(1) 会報の発行

令和 7 年 8 月に第 139 号、12 月に第 140 号、令和 8 年 3 月に第 141 号を発行し、会員ならびに医療関係等に配付しました。

(2) 各種講演会の開催

1) 「すこやか脳を守る講演会」(主催)

① 第 85 回すこやか脳を守る講演会

令和 7 年 6 月 15 日(日)、蔵王町ふるさと文化会館で開催。演題は「脳卒中医療の最新事情」、講師は東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授の遠藤英徳先生。参加人員 115 名。

② 第 86 回すこやか脳を守る講演会

令和 7 年 10 月 7 日(火)、名取市保健センターで開催。演題は「あなたの食事が未来の脳をつくる～認知症・脳卒中を防ぐ食生活～」、講師は広南病院脳神経外科部長の鹿毛淳史先生。参加人員 38 名。

③ 第 87 回すこやか脳を守る講演会

令和 7 年 11 月 11 日(火)、多賀城市立図書館で開催。演題は「ご家庭から始めていただく脳卒中予防策」、講師は広南病院東北療護センター長の村石健治先生。参加人員 27 名。

2) 「脳卒中予防講演会」(主催)

① 令和 8 年 3 月 28 日(土)、太白区中田市民センターで開催。演題は「予防しよう！脳卒中」、講師は東北大学大学院医学系研究科神経病態制御学分野准教授坂田洋之先生。参加人員 38 名。

(3) 脳卒中予防関連の講演会等への講師派遣

脳卒中予防を目的とする講演会、研修会等の各種会合への講師派遣依頼はありませんでした。

(4) 脳卒中予防関連の講演会等への後援

1) 「第3回広南病院市民公開講座」

令和7年9月28日(日)、広南病院外来ホールで開催。脳卒中についてのポスター掲示、くも膜下出血、脳動脈瘤の治療機器・模型の展示、こどもドクターによる脳卒中治療体験、こどもナースによる血圧測定体験・減塩食の調理、試食会、レシピ本販売等。参加人員70名。

(5) 脳卒中予防啓発ラジオ番組の放送

脳卒中月間の10月、令和7年10月1日(水)～29日(水)の毎週水曜日の5回、午前10時～10時8分、エフエム仙台「モーニング・ブラッシュ」の番組内で脳卒中予防啓発番組「知って安心、脳卒中の予防と治療」を放送。第1回10月1日(水)、テーマ「脳卒中を疑うサインと早期受診の大切さ」、ゲスト 広南病院 副院長・脳血管内科部長 矢澤由加子先生。第2回10月8日(水)、テーマ「進化している脳卒中の外科治療について」、ゲスト 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授 遠藤英徳先生。第3回10月15日(水)、テーマ「脳卒中の血管内治療について」、ゲスト 広南病院血管内脳神経外科部長 面高俊介先生。第4回10月22日(水)、テーマ「脳卒中の予防について、食事や程度の運動」、ゲスト 広南病院栄養管理部室長 五十嵐祐子先生。第5回10月29日(水)、テーマ「脳卒中にならないために」、ゲスト 広南病院病院長 中里信和先生、東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授 遠藤英徳先生。

(6) Jリーグ試合会場での脳卒中予防啓発イベント(共催)

令和7年10月26日(日)、ユアテックスタジアム仙台にて、ベガルタ仙台市民啓発活動「ストップ!脳卒中 延ばそう!健康寿命 ～宮城県脳卒中予防キャンペーン2025～」を開催。脳卒中予防の横断幕を掲げてピッチを行進。会場入り口にブースを借り、血管健康や血圧の無料測定、医師による健康相談を行いました。参加人員のべ524名。

(7) 仙台スカイキャンドルライトアップ

10月29日の「世界脳卒中デー」に仙台スカイキャンドルをブルーにライトアップしました。

2. 研究、研修事業

(1) 医師、医療技術者研修の助成

1) 第9回脳神経外科研修医セミナー（後援）

令和7年7月1日（火）、艮陵会館記念ホールよりハイブリッド形式により実施。講演1「脳卒中の初期対応～適切な治療につなぐポイント～」
広南病院血管内脳神経外科 真貝勇斗先生。講演2「救急外来での頭痛の診かた」東北大学病院高度救命救急センター脳神経外科 山下将太先生。
講演3「高齢者認知症の原因疾患について」東北大学大学院医学系研究科
高次機能障害学分野准教授 菅野重範先生。参加人員53名。

(2) 専門医向けの講演会の開催

1) 第27回みやぎブレインアタック研究会（共催）

令和7年9月26日（金）、艮陵会館記念ホールよりハイブリッド形式により実施。特別講演1「新時代の脳卒中予防戦略」東京女子医科大学脳神経内科教授・基幹分野長 藤堂謙一先生。特別講演2「臨床現場からの脳血管障害への挑戦」奈良県立医科大学脳神経外科教授 中川一郎先生。参加人員38名。

(3) 脳卒中予防関連の研究会への後援

脳卒中予防関連の研究会への後援依頼はありませんでした。

3. 調査登録事業

令和7年3月31日付で、宮城県と「令和7年度宮城県脳卒中登録管理事業業務」について、業務委託契約を締結し、前年度から引き続いて登録事業を協力実施しました。

(1) 宮城県脳卒中患者登録状況（2024年1月～12月）

調査登録総数	調査（参加）医療機関名
	1. 東北大学病院 2. 広南病院 3. 国立病院機構仙台医療センター 4. 仙台市立病院 5. 仙台徳洲会病院 6. 大崎市民病院 7. 古川星陵病院 8. 気仙沼市立病院 9. 石巻赤十字病院 10. 仙石病院 11. 坂総合病院 12. 赤石病院 13. 総合南東北病院 14. 国立病院機構宮城病院 15. みやぎ県南中核病院 16. 公立刈田総合病院 17. 東北医科薬科大学病院 18. 東北労災病院 19. 仙台東脳神経外科病院 20. 泉病院 21. イムス明理会仙台総合病院
6,149 件	21 施設

(2) 脳卒中登録実務委員会について

令和7年度の実務委員会を令和8年2月25日（水）に江陽グランドホテルにて開催し、遠藤英徳脳卒中登録委員会委員代表から「令和7年度宮城県脳卒管理中事業」について報告があり、委員全員の了承を得ました。

4. 奨学金給付事業

令和7年度は海外留学奨学生の応募がありませんでした。

5. 会員数

令和7年度（令和8年3月31日現在）の宮城県対脳卒中協会の維持会員数は法人会員28団体、個人会員437名です。

6. その他

各事業の活動内容については、当協会のホームページに随時掲載しました。

令和7年度 事業報告の付属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略します。